

GPA

GPAは、Grade Point Averageの略称で、取得した成績評価に基づいて、係数化された数値を示します。



1 導入の目的

厳格な成績評価、綿密な履修指導による卒業生の質の保証等のためにGPA制度を導入する。

2 成績評価基準

		素点	評価	係数	内 容	成績表示
判 定	合 格	100~90点	S	4	特に優れた成績を示したもの	S
		89~80点	A	3	優れた成績を示したもの	A
		79~70点	B	2	妥当と認められたもの	B
		69~60点	C	1	合格と認められるための成績を示したもの	C
	不合格	59点以下	D	0	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの	—
無 判 定		—	E	0	履修登録をしたが成績を示さなかったもの	—
		—	P	—	履修登録後、所定の中止手続きを取ったもの	—
		—	N	—	修得単位として認定になったもの	N

※成績評価は成績表の素点から導き出されますが、履修登録したものの成績を示さなかった場合は、成績表には素点は記載されず、成績評価はEとなり、該当する係数は0となります。

※成績証明書では合格した科目の成績（S、A、B 及び C）及び認定科目（N）のみ表示します。

3 計算式（算出方法）

- ①授業科目担当教員から提出された成績表の素点から評価を導き出し、その評価に該当する係数に各授業科目の単位数を掛けたものがポイント数となり、ポイント数の総計を総履修単位数（D、Eの単位数も含める）で除したものがGPAとなる。GPAは小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを有効とする。

なお、P（履修中止）、N（認定科目）はGPAに算入しない。

【計算式】

$$\frac{(4 \times \text{Sの修得単位数}) + (3 \times \text{Aの修得単位数}) + (2 \times \text{Bの修得単位数}) + (1 \times \text{Cの修得単位数})}{\text{総履修単位数 (D, Eの単位数も含める)}}$$

- ②GPA算出の対象科目は、履修したすべての授業科目（「自主創造の基礎1・2、教科教育法Ⅰ～Ⅲ、教育実習事前・事後指導、教育実習Ⅰ・Ⅱ、教職実践演習」は除く）とする。

- ③GPAは、当該年度の学期（学期のGPA）及び年間（年間のGPA）並びに入学時からの累積（累積のGPA）とする。

- ④通年科目は、学期のGPA算出の際には後学期のGPAに算入する。

- ⑤授業科目を再履修した場合、累積のGPA算出の際には最後の履修による成績及び単位数のみを算入するものとし、以前の成績及び単位数は算入しない。

4 履修中止

履修登録の変更・取消し期限以降に履修を中止するときは、学部等の定める手続きによる許可を得て行う。

5 不正行為

定期試験において不正行為を行った場合は、処分を受けた条件に基づき、評価「E」、係数「0」として取り扱う。

6 成績証明書

成績証明書には、原則として累積のGPAを記載する。